

災害への備えは整っていますか？

6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震、並びに7月5日からの西日本地域における豪雨災害により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げますと共に、犠牲になられた方々のご遺族の皆様に対し、衷心よりお悔やみを申し上げます。

目黒区は、地震発生当日から学校等の区有施設や民有地のブロック塀等の緊急安全点検を行い、必要な対応を実施しています。また、都市型水害に対しては、水害ハザードマップの公開や目黒川洪水警報、防災気象情報メールの配信等様々な対策を実施しています。今回は、ブロック塀等の緊急安全点検の概要と、都市型水害への備えについてご紹介したいと思います。



◎ブロック塀等の緊急安全点検

○目黒区は、大阪府北部地震を受け、学校施設、学校施設以外の区有施設、民有地のブロック塀等の緊急安全点検を行いました。その結果と対応は次のとおりです。

【学校施設】 5校(菅刈小・油面小・原町小・東根小・第一中)に控え壁の不適合、破損・ひび割れ等劣化あり。

⇒5校について安全確保の仮囲い設置済み。具体的対応策を早急にまとめて実施。

通学路の安全点検も7月中に完了し、結果に応じて必要な措置を実施。

【区有施設】 144箇所を点検し、控え壁の不適合や破損・ひび割れ等劣化など42箇所確認。

⇒撤去等が必要な場合は早急に対応。引き続き外構部の安全確保に努める。

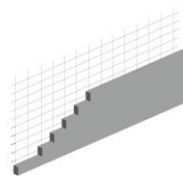
【民有地】 毎日区民から問い合わせが相次いでいます。これを受け、目黒区は、全町会・自治会に注意喚起等のチラシを回覧。区HP・公営掲示板等でも注意喚起。

(塀に関する助成・融資制度のご案内)

①二項道路の拡張整備に伴う塀の撤去費用の一部助成 狭あい道路係(03-5772-9729)

②生垣等植栽(道路沿い)に伴う既存塀撤去費用の一部助成 みどりの係 (03-5722-9359)

③塀の修築(補修等)資金融資斡旋(撤去・新設は対象外) 居住支援係 (03-5772-9878)



◎都市型水害への備え

○事前の備えと正確な情報収集が大切です。目黒区防災行動マニュアルや「東京防災」、「東京くらし防災」には、地域特性を踏まえた防災情報が満載です。是非ご覧下さい！

【水害ハザードマップ】

目黒川や緑道沿いの一部には2m以上浸水する地域もあります。お住まいの地域が水害時に最大でどの程度浸水する可能性があるのか、必ず確認しておきましょう！

【防災気象情報メールの自動配信】

大雨時はサイレンが聞こえないことがあります。大雨警報だけでなく、土砂災害警報や目黒川洪水警報、目黒区の河川水位情報も配信されます。是非登録しましょう！

【ご家族同士の安否確認(災害用伝言ダイヤル)】

局番なしの「171」に電話をかけると、自分の伝言を録音でき、自分の電話番号を知っている家族などが伝言を再生することができます。ご家族で確認しておきましょう！



防災気象情報メール
登録QRコード

待機児童マイナスへ向けて！

目黒区の平成30年4月1日現在の待機児童数＊が6月4日に公表され、前年の**617人から330人へと大幅に減りました**。東京都全体でも、前年の8,568人から約3,100人減少し、5,500人を下回る見込みです。待機児童数が減ると転入者の増加を呼ぶ傾向が統計上明らかですが、まずはゼロを目指し、更にはマイナス(いつでも受け入れOK)を目標にして、誰もが住みたい街、住み続けたい街目黒にするため、引き続き取り組んで参ります。

今回は、目黒区の最新状況と取り組みをご紹介します。



＊国の保育所等入所待機児童数の定義に基づき集計した数字

◎目黒区の実態

○目黒区では、直近5年間で0～5歳児が1,224人も増加しており、人口増加に対して、保育所の増設・保育士の確保などすぐに対応できないハード面対策が追い付かない状況が続いています。

クラス(年齢別)	H29	H30
0歳児クラス	243	193
1歳児クラス	241	88
2歳児クラス	86	38
3歳児クラス	35	11
4歳児クラス	10	0
5歳児クラス	2	0
合計	617	330

地区別	H29	H30
北部	84	52
東部	171	69
中央	98	67
南部	136	66
西部	128	76
合計	617	330

種別	H30	増減 (前年比)	増減 (H26比)
認可保育所	4,729	718	1,580
認定こども園	54	0	54
認証保育所	516	-60	-103
家庭福祉員	19	-4	-18
グループ型 小規模保育	-	0	-15
定期利用保育	63	33	-2
小規模保育施設	263	8	207
事業所内保育	15	0	15
合計	5,659	695	1,718



◎目黒区の取り組み

○私はこの問題の解決のためには、募集増と申込増の追い駆けっこ、共働き世帯と都心未就学児等の低年齢児保育需要の増加など、複数の構造的要因が絡んでいるため、区の施策と、国および東京都の対策とのジョイントによる相乗効果が不可欠であると考えています。

○目黒区も待機児童ゼロを最重要施策としてあらゆる資源を投入して対応しており、区役所敷地内や中学校跡地に保育所を新設するなど着実に取り組んでいます。

○昨年9月には、新たな保育所待機児童対策の取組方針を定め、待機児童問題の解消に更に力を入れています。

- ① 乳児における保育施設定員の拡充 ② 0歳児における待機児童数の抑制
- ③ 民有地を活用した保育所開設の促進 ④ 大規模建築物等への保育施設の設置推進

○総事業費を従来の1.8倍(368億円)に増やし、2016年度からの5年間で**39箇所新設などで3,518人分の定員を増加**。併せて、区立3保育所の改築・民営化も実施し、2018年3月末時点の定員数と合わせて**8,000人規模に拡大**します。

○兼ねてから要望を受けていた「区立認可保育園での使用済み紙おむつの処分」が7月17日から開始されました！これで保護者が持ち帰らずに済むようになりました。待機児童対策だけでなく、保育サービスを受けている皆さんのお声も着実に実現するよう取り組んで参ります！



ゆらりん下目黒保育園
(四中跡地) H30.4 開所



小林かなこ プロフィール

○S52.4.12 生。山形県鶴岡市(湯田川)出身。羽黒高校(国際コース)、筑波大学(日本語日本文化学類)卒業。
○高校時代に米国留学。その時の決意から筑波大学日本語日本文化学類へ進学。卒業後、米国の高校等で日本語・日本文化を教える。帰国後、米国教育団体に11年間勤務。国会議員秘書として政治の基礎を学び、目黒区議会議員となる。
＜所属＞ 目黒区議会 都市環境委員会 副委員長、自民党都連青年部 女性対策委員長、目黒消防団第8分団団員ほか